



雪谷の清流

平成30年7月10日発行
岩手県立軽米高等学校通信23号
文責:副校長 松場 喜美夫

軽米一日総合大学を開催 平成30年6月28日

6月28日、昨年に続き2回目となる軽米一日総合大学を開催しました。

昨年同様に、進学希望者の進学への意欲高揚の機会となることばかりでなく、就職を考えている生徒にも大学での学びに触れる機会となるとともに、本年度は、新たに就職の講座を設け、進学を考えている生徒にも職業について考える場面を設定しました。また、昨年度は9月に実施いたしました、3か月早めて実施することで、1年生のコース選択の情報の一つとして、2年生のインターンシップや大学見学の足がかりとして、3年生の志望確定の材料として有効となることを期待いたしました。

○生徒の感想から抜粋



【就職講座より】

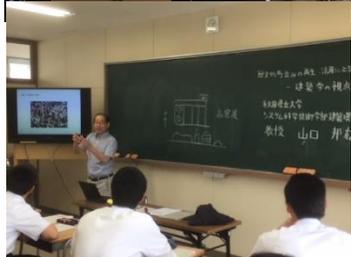
- 親から聞いて想像していたのと違って、考え方が大きく変わりました。
- 仕事で気をつけることは、ミスをなくす、ルールを守ることだということを知りました。
- 管内に、日本を代表するような企業があることに驚きました。
- チームワークとコミュニケーションが大事だと改めて感じました。
- 事前に企業のことを詳しく調べておくことが重要だと感じました。
- どの仕事にも、責任力、忍耐力、協調性が求められていると再認識しました。

【大学講義より】

- 治療だけが医療ではなく、心のケアや予防も重要だとわかりました。
- CGの顔や体を動かすのに、高校レベルの式の組み合わせを使っていると知って驚きました。
- ICTの進展が地域の魅力発信や課題解決、活性化に大きく貢献できると強く感じました。
- イスラーム文化を紹介しながら、資源の大切さ、分かち合う知恵について学びました。自分が今生きていることのありがたみを感じました。

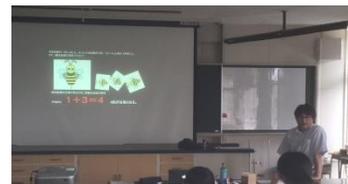


•歴史的な町並みを崩さず残す取り組みが、人の手によって行われていることに感心しました。



•自分たちの行動が環境問題につながってしまうことを考えて生活したいです。

•あそびの中に学びがあり、学びの中にあそびがあると知りました。



•福祉に携わるには、ただ介護の仕方を知っていればいいということだけでなく、経済面や親族など周囲の人との関わり方も知っていなければならないと思いました。

講師の皆様

先生方、ありがとうございました。

| 所属 | 氏名 | タイトル等 |
|------------------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 社会福祉法人いつつ星会 特別養護老人ホームわくわく荘 | 介護支援専門員 松葉 慎哉 様 | 新しい介護のあり方など |
| SWS東日本株式会社 | 総務部人事営業グループ 葛西 潤慈 様 | 住友電送グループの国内主要拠点 |
| 有限会社コラージュ | アシスタント 日ノ沢 穂 様 | トータルビューティー、ライフスタイルを情報発信 |
| 二戸公共職業安定所 | 雇用指導官 吉田 優 様 | 国家公務員の一般職とは、総合職、専門職とは？ |
| 青森県立保健大学 健康科学部看護学科 | 講師 村上 眞須美 様 | 災害看護学 |
| 岩手大学理工学部 システム創成工学科 知能・メディア情報コース | 教授 萩原 義裕 様 | 初音ミクとロボットの素敵な関係 |
| 青森公立大学経営経済学部 地域みらい学科 | 准教授 木暮 祐一 様 | ICTの進展と地域の課題解決、地域の活性化 |
| 秋田大学 国際資源学部資源政策コース | 教授 縄田 浩志 様 | 希少な資源を分かち合う知恵:イスラーム文化に学ぶ |
| 秋田県立大学システム科学技術学部 建築環境システム学科 | 教授 山口 邦雄 様 | 歴史的町並みの再生・活用による地域活性化ー建築学の視点からー |
| 八戸工業大学工学部 システム情報工学科 | 准教授 小玉 成人 様 | グリーンICT～情報通信技術で環境を考える～ |
| 盛岡大学文学部 児童教育学科 | 准教授 石川 悟司 様 | 遊ぶことと学ぶこと |
| 岩手県立大学 社会福祉学部 | 准教授 山岡 由美 様 | 社会福祉のしごと～専門性と資質～ |

教育実習生が来ました

6月18日(月)～29日(金)

までの10日間、平成26年度卒業生の中野優太さん(八戸工業大学工学部生命環境工学科4年)が教育実習(化学)に来ました。中野さんから後輩たちへのメッセージを頂きました。

二週間の教育実習大変お世話になりました。軽米高校で教員として過ごした二週間の中で自分の強みやまだまだ改善できることを確認することができました。この二週間が私の成長だけでなく、軽高生に少しでも役に立てたならばとても嬉しいです。

実習を通して軽高生の学ぼうとする姿勢が素晴らしいと感じました。どうかその姿勢を忘れず、生徒それぞれの夢に向かってほしいです。私の経験から言えることは、失敗は行き止まりではありません。失敗から自分をもっと努力すればまだやれる、上のステージに行けるということを教わりました。失敗を恐れず頑張ってほしいです。もうやるしかない! その気持ちで残りの時間を有効に使ってください。また、高校三年間はかけがえのない時間です。楽しむことも忘れないように。

二週間本当にありがとうございました。いずれまたどこかで成長したみなさんに会えることを楽しみにしています。

